

安平町・追分高校 高校生がニュースづくりの裏側を学ぶ スタジオカメラを操作 キャスター体験も

2025年6月30日（月）

6月30日、安平町にある追分高校の生徒22人が、テレビの仕事の裏側を学ぼうとHTBを訪れました。報道フロアでは、田中智祐副部長が原稿システムや回線センターなどの設備のほか、編集業務の様子を紹介し、速く正しくニュースを伝えるための流れを丁寧に説明しました。また、地震や津波など緊急対応の重要性について語りました。そして「イチモニ!」「イチオシ!!」を放送している第1スタジオでは、映像コンテンツ部のスタッフ立ち会いのもと、生徒たちは大型のスタジオカメラを操作したり、プロジェクターの前に立ってキャスター体験をするなど、テレビの仕事の醍醐味を味わっていました。生徒は「速報の仕組みがわかって良かった」「初めてカメラを触って、性能が良くて驚いた」などと話していました。

